表　一次電池に係る最小平均持続時間

| 形状の通称<br>（寸法：高さ・直径） | 負荷抵抗（Ω） | 最小平均持続時間 | |
|---|---|---|---|
| | | 初　度 | 12か月貯蔵後及び使用推奨期間内 |
| 単１形<br>（61.5㎜・34.2㎜） | 2.2 | 810分 | 725分 |
| | 10 | 81時間 | 72時間 |
| | 2.2 | 15時間 | 13時間 |
| | 1.5 | 450分 | 405分 |
| | 600mA（放電電流） | 11時間 | 9.5時間 |
| 単２形<br>（50.0㎜・26.2㎜） | 3.9 | 770分 | 690分 |
| | 20 | 77時間 | 69時間 |
| | 3.9 | 12時間 | 10時間 |
| | 400mA（放電電流） | 8.0時間 | 7.0時間 |
| 単３形<br>（50.5㎜・14.5㎜） | 43 | 60時間 | 54時間 |
| | 3.9 | 4.0時間 | 3.6時間 |
| | 10 | 11.5時間 | 10.0時間 |
| | 1000mA（放電電流） | 200回 | 180回 |
| | 24 | 31時間 | 27時間 |
| | 250mA（放電電流） | 4.5時間 | 4.0時間 |
| 単４形<br>（44.5㎜・10.5㎜） | 5.1 | 130分 | 115分 |
| | 24 | 14.5時間 | 13.0時間 |
| | 10 | 5.0時間 | 4.5時間 |
| | 75 | 44時間 | 39時間 |
| | 600mA（放電電流） | 140回 | 125回 |

⑵　目標の立て方

当該年度の電池（単１形から単４形）の調達総量（個数）に占める基準を満たす物品の数量（個数）の割合とする。

５―12　電子式卓上計算機

⑴　品目及び判断の基準等

| | |
|---|---|
| 電子式卓上計算機 | 【判断の基準】<br>①使用電力の50%以上が太陽電池から供給されること。<br>②再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上使用されていること。<br>【配慮事項】<br>○製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。 |

備考）１　本項の判断の基準の対象とする「電子式卓上計算機」は、通常の行政事務の用に供するものとする。

２　「再生プラスチック」とは、使用された後に廃棄されたプラスチック製品の全部若しくは一部又は製品の製造工程の廃棄ルートから発生するプラスチック端材若しくは不良品を再生利用したものをいう（ただし、原料として同一工程内で再生利用されるものは除く。）。

⑵　目標の立て方

当該年度の電子式卓上計算機の調達総量（個数）に占める基準を満たす物品の数量（個数）の割合とする。

５―13　カートリッジ等

⑴　品目及び判断の基準等

| | |
|---|---|
| トナーカートリッジ | 【判断の基準】<br>①使用済トナーカートリッジの回収及びマテリアルリサイクルのシステムがあること。<br>②回収したトナーカートリッジ部品の再使用・マテリアルリサイクル率が製品全体質量（トナーを除く）の50%以上であること。<br>③回収したトナーカートリッジ部品の再資源化率が製品全体重量（トナーを除く）の95%以上であること。<br>④回収したトナーカートリッジ部品の再使用又は再生利用できない部分については適正処理されるシステムがあること。<br>⑤トナーの化学安全性が確認されていること。<br>⑥感光体は、カドミウム、鉛、水銀、セレン及びその化合物を処方構成成分として含まないこと。<br>⑦使用される用紙が特定調達品目に該当する場合は、特定調達物品等を使用することが可能であること。<br>【配慮事項】<br>○製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。 |
| インクカートリッジ | 【判断の基準】<br>①使用済インクカートリッジの回収システムがあること。<br>②回収したインクカートリッジ部品の再資源化率が製品全体重量（インクを除く）の95%以上であること。<br>③回収したインクカートリッジ部品の再使用又は再生利用できない部分については適正処理されるシステムがあること。<br>④インクの化学安全性が確認されていること。<br>⑤使用される用紙が特定調達品目に該当する場合は、特定調達物品等を使用することが可能であること。<br>【配慮事項】<br>①回収したインクカートリッジ部品の再使用又はマテリアルリサイクルの取組がなされていること。<br>②製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。 |